

平成 21 年 5 月の地震活動及び火山活動について

○ [地震活動]

震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はありませんでした。

全国で震度 1 以上を観測した地震の回数は 111 回、日本及びその周辺における M4.0 以上の地震の回数は 53 回でした。

国土地理院の G P S 観測結果では、全国の地殻変動について特に目立った変動は見られません。

震度 3 以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙 1 のとおりです。また、世界の主な地震は別紙 2 のとおりです。

○ [火山活動]

浅間山では、3 日および 27 日にごく小規模な噴火が発生しました。引き続き、山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、山頂火口から概ね 2 km の範囲では大きな噴石に警戒が必要です。浅間山では、火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

桜島の昭和火口では、30 日に爆発的噴火が発生し、大きな噴石が 5 合目（昭和火口から 500～800 m）まで達し、噴煙が火口縁上 2,500 m まで上がりました。引き続き、南岳山頂火口及び昭和火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では大きな噴石に警戒が必要です。桜島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いており、火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪の瀬島では、小規模な噴火が断続的に発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙 3 のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙 4 のとおりです。

注 1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注 2：国土地理院の GPS による地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成 21 年 5 月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2009-goudou0609.html>

注 3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注 4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成 21 年 5 月号（平成 21 年 6 月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定）をご覧ください。

注 5：平成 21 年 6 月の地震活動及び火山活動については、平成 21 年 7 月 7 日に発表の予定です。